

社会規範に関する意識調査

——12年前の学生と現代学生との比較——

佐藤 嘉晃

はじめに

本調査は、1994年11月に実施している。

前回の調査は、1982年11月であるから、ちょうど12年前ということになる。

この間の社会や政治の動きをふり返ってみると、電々公社、専売公社、国鉄の民営化など行政改革や税制改革が行われた。さらに、55年体制（保革2大政党体制）がくずれ、連立政権が成立した。経済面では、石油ショックで高度成長から低成長へ移行した。その後は、アメリカとの貿易摩擦や円高などもあったが、80年代前半までは安定成長を維持、80年代半ばには、日本人1人当りのGNPがアメリカを追いこすなど、安定から景気の拡大へと移行した。その後、バブル経済で不動産売買ブームがおこったが、バブルの崩壊があり景気が冷え込んだ。

一方、少子化、高学歴化が進み、早いうちから塾に通わせ、有名私立小中学校への進学熱が高まった。

また、遊びの場における個人化は、コミュニケーションが下手な人間をつくりだした。

簡単に振り返っても、わずか10年余りの間の社会や政治の変動は大きい。

そして、社会規範や社会化も、こうした社会の変動に関連しながら複雑に変化しており、社会規範の変化、社会化の変化について、今回再調査する意義は十分認められる。

調査のやり方は、準パネル調査、すなわち、前回と同一の質問で対象属性も同じとした。但し、比較を詳細にするために、今回は、保育学生に加えて、一般大学生も対象に入れた。

1. 社会規範に関する項目

(1) 友人の危機に対する対応

友人が危険な目にあっている時にどうするかということは、正義と友情、あるいは他者との連帯にかかわる判断である。

大学生の結果で第1位となったのは、「自分も助けにいくが、周囲の人にも頼む」というもので、約50%近くの人がこの選択をした。

これは、社会における他人との連帯と自己犠牲の精神を前提とした正義の実現という反応である。この反応の率は最も高いことが望まれるが、この数字は決して高いものではない。なお、12年前の調査（以後前回調査といいかえる）では、6割弱の人が第1位にあげていた。今回は、大学生で12ポイント減っており、設問の主旨を考えると重大な意味をもっているといわざるを得ない。第2位は、「殴られるのを覚悟して助けに行く」という反応で、39%の人が答えている。この回答は、一見望ましいもの、カッコ良い自己犠牲の精神のようにもみえるが、他人の援助を期待せずに自分の責任において行動するという判断の背景に、「他人は頼りにならない」という意識が存在しているとしたら、必ずしも望ましいだけでは済ませられない。少数ではあるが、「知らないふりをする」という人がいる。この回答率は、前回調査では1%程度であったが、今回の調査では4.4%に増加していることに注目したい。設問の状況と回答者が大学生ということを考えて重大な意味をもっている。

保育学生では、「自分も助けるが、周囲の人にも頼む」が50%を越えている。2位は「殴られるのを覚悟で助けにいく」である。「知らないふりをする」は、4%弱となっており、大学生の結果と類似している。(表1-1)

表1-1 友人の危機に対する対応

	殴られるのを覚悟で助ける	周囲の人に頼む	知らないふりをする	車掌に連絡する	自分も助けるが周囲の人にも頼む	DK・NA	
前回調査	33.3%(90)	4.4%(12)	1.9%(5)	1.1%(3)	59.3%(160)	0%	N=270
大学生	39.7(389)	6.3(62)	4.4(43)	2.2(22)	47.1(462)	0.2(2)	N=980
保育学生	36.3(29)	7.5(6)	3.8(3)	0	52.5(42)	0	N=80

(2) 老人に席を譲る場合の対応

恋人と入った映画館で老人に会った際にどうするかという設問に対して、大学生の約半数が「老人一人が座れるようにする」を第1位にあげている。この反応は、座席に置いた荷物をどけることで一応免責状態になるという考え方であろうが、その裏には、相手が誰であれ、また状況がどうであれ、ある種の権利（優先権、既得権）は常に主張できるのだという意識の存在が感じられる。第2位は「恋人と共に席を立ち、老人が3人座れるようにする」が4割いる。保育学生は、大学生の場合と1位、2位が逆転しており、「恋人と共に席を立ち、老人3人が座れるようにする」が半数を越えている。これは、前回調査と殆んど一致した傾向になっている。(表1-2)

表1-2 老人に席を譲る場合の対応

	老人一人が座われるようにする	老人二人が座われるようにする	そのままにする	誰かから言われるまでそのまま	老人三人が座われるようにする	DK・NA	
前回調査	42.2%(114)	2.6%(7)	0.4%(3.8)	0.7%(2)	54.1%(146)	0	N=270
大学生	49.8 (488)	3.5 (34)	3.8 (37)	2.6 (25)	40.1 (393)	3%(0.3)	N=980
保育学生	41.3 (33)	5.0 (4)	1.3 (1)	0	52.5 (42)	0	N=80

(3) バス内でのトラブルへの対応

大学生の半数弱の人が「場所を移る」ことで対応すると答えている。これでは、事態は何ら積極的に解決されたわけではない。これと同様のことが「黙って立っている」という反応にもいえる。これは若者の間での対人関係の処理や社会化が不十分なことを示唆している。「相手に傾けてくれるように言って」解決しようとする人が、24%しかいない。「足で押す」という極端な対応をする人が、2割近くいる。結局、大学生の多くが消極的かさもなければ極端な対応をすることが明らかになっている。

保育学生は、大学生程極端ではないが「相手に傾けてくれるように言う」は2割弱、「黙って立っている」は13.8%と多い。結局、消極的な対応傾向が目立つ。前回調査と比較してみると、消極的か、さもなければ極端な対応をする傾向がますます強くなっているといえよう。(表1-3)

表1-3 バス内でのトラブルへの対応

	黙って立っている	傾けてくれるように言う	足で押す	場所を移る	DK・NA	
前回調査	9.3%(25)	16.7%(45)	9.3%(25)	64.4%(174)	0.4%(1)	N=270
大学生	9.1 (89)	24.3 (238)	19.0 (186)	47.3 (464)	0.3 (3)	N=980
保育学生	13.8 (11)	17.5 (14)	10.0 (8)	58.8 (47)	0	N=80

(4) 落し物に対する対応

前回調査と今回の調査を比較すると、大学生・保育学生ともに結果のちがいがはっきりでている。すなわち、第1位は(大学生36.8%, 保育学生52.5%)「仕事優先, 後日警察に」と答えているが、第2位は(大学生27.8%, 保育学生17.5%)「天からの授かりものとしてもらっておく」という事態を自己利益の側面しかとらえていない項目があがっている。「仕事は後に, 警察優先」という犠牲的精神の対応は、ごくわずかである。(大学生・保育学生ともに6%程度)(表1-4)

表 1-4 落とし物に対する対応

	とりあえず警察に	後に寄付	もらっておく	後日警察に	そのまま置いておく	DK・NA	
前回調査	14.1%(38)	3.0%(8)	8.1%(22)	62.6%(169)	12.2%(33)	0	N=270
大学生	6.6 (65)	17.2 (169)	27.8 (272)	36.8 (361)	11.4 (112)	0	N=980
保育学生	6.3 (5)	7.5 (6)	17.5 (14)	52.5 (42)	16.3 (13)	0	N= 80

(5) 就職試験結果報告に対する対応

大学生・保育学生ともに第1位となったのは、「相手に電話で報告する」で、前者は71.7%、後者は81.3%である。(これは前回調査と比べると30ポイント近く増えている。)

昨今の電話の普及状態をみると、コードレス電話の著しい普及にみられるように、電話は手軽な情報伝達装置であり、若者の生活の一部になっている。しかし、設問の状況である「先輩の就職の口ぞえ、結果報告」という条件を考えると、電話ですませてしまうことは許容されにくい事柄である。電話という伝達手段が相手の都合に関係なく、しかも相手呼び出すという行為を伴っているものであるから、自分が年長の人に重大な事柄を依頼し、その結果を報告するためには相手に面と向って、しかも相手の都合に合わせて行なうことが最上の選択であろう。そしてその選択が困難な場合には、相手の家に出向くか手紙という形で報告することが成人社会で期待される対応であるが、そのような対応をする人は2割にみえない。こうした安易な対応をよしとする考え方で、成人社会にでた場合には大きなカルチャーショックを受けることであろう。(表 1-5)

表 1-5 就職試験結果の報告に対する対応

	電話で報告	黙っている	礼状を出す	品物を送る	相手の家に行く	DK・NA	
前回調査	45.2%(122)	1.1%(3)	35.2%(95)	0.7%(2)	17.8%(48)	0	N=270
大学生	71.1 (697)	6.6 (65)	17.7 (174)	1.1 (11)	3.4 (33)	0	N=980
保育学生	81.3 (65)	3.8 (3)	8.8 (7)	2.5 (2)	3.8 (3)	0	N= 80

2. 価値意識に関する項目

(1) 公共の利益か個人の権利か

前回調査とおおむね同じような結果が得られている。

大学生においては、2割強の人が公共を優先させ、半数近く（45%）の人が私権を優先させている。（保育学生では1割の人が公共優先、半数以上が私権優先）過去に行われた日本人全体の調査では、7割近くの67%が私権優先であった点を比較すると、今回の被調査者は若年にもかかわらず私権を優先させる人が相対的に少いといえる。「わからない」と答えたのは、大学生で約3割いる。この問題は、人々が社会生活を営んでいく上で、個人の様々な場面における意志、行動の指針となるべきものである。判断放棄が3割もいるのは問題である。（表2-1）

表2-1 公共の利益か個人の権利か

	公共優先	わからない	個人優先	NA	
前回調査	18.5%(50)	36.3%(98)	45.2%(122)	0	N = 270
大学生	24.7 (242)	29.7 (291)	45 (441)	0.6(6)	N = 980
保育学生	13.8 (11)	31.3 (25)	53.8 (43)	1.3(1)	N = 80

(2) 道理かしきたりか

この項目の分析は、前回調査になかったものである。今回の調査結果について言及しておく。大学生では、筋を通し道理を守ることが大切だと考えている人が45.9%，うまくふるまうことが大切だと考えている人が52.4%，差は6.5ポイントで拮抗している。保育学生もほぼ大学生と同じような傾向を示している。（前者47.5%，後者50.0%）（表2-2）

表2-2 道理かしきたりか

	道理	わからない	しきたり	
大学生	45.9%(450)	1.6%(16)	52.4%(514)	N = 980
保育学生	47.5 (38)	2.5 (2)	50 (40)	N = 80

(3) 権威志向か平等志向か

「年長者に敬語を使うのは当然」と考えている大学生は、86%（前回は93.3%）に対して「同じ言葉を使った方がよい」と考えている学生は12%強いる。保育学生も似た傾向を示している。前回調査と比較してみると、「同じ言葉を使った方がよい」と考えている人が7ポイント増加している。これは敬語といういわば日本特有の社会規範についての意見ではあるが、逆に「年長者に敬語を使うのは当然」と考えている人が7ポイント減っている。これは、言葉における平等志向が増加しつつあり、敬語を使う人が減少しつつあることを示していると思われる。また、敬語

をうまく使えないのは、自信がないことの裏がえしの反応とも考えられる。(表 2 - 3)

表 2 - 3 権威志向か平等志向か

	年長者への敬語当然	誰にでも同じ言葉	DK・NA	
前回調査	93.3%(252)	5.6%(15)	1.1%(3)	N=270
大学生	86.1 (844)	12.6 (124)	1.2 (12)	N=980
保育学生	88.8 (71)	11.3 (9)	0	N= 80

3. いくつかのクロス分析の結果

(1) 公共の利益か個人の権利か×車内暴力との関連

この項目間の関連をみると次のような結果が得られた。

すなわち、1人で助けに行くと答えた人には、個人の権利を優先させる人の割合が公共の利益を優先させる人の割合よりも多く、個人主義的行動が個人主義主義的意識と一応の一貫性があることを示している。この結果は、前回調査と傾向が似ている。また、保育学生の調査結果とも似ている。また、他人と協力して助ける人は、大学生、保育学生ともに個人の権利を優先させるという結果がでた。前回調査では、他人と協力して助ける人は、公共の利益を優先させる人の割合が、個人の権利を優先する人の割合よりも多く、公共の利益の意識と一応の一貫性を示していた。(表 3 - 1, 表 3 - 2, 表 3 - 3)

表 3 - 1 公共の利益と個人の権利×車内暴力への対応との関連(前回調査)

暴力対応 公・私	一人で 助ける	周囲の人に頼む	知らない ふり	車掌に連絡	自分と周囲の人	DK・NA	計(N=)
公共優先	22.0%	6.0%	2.0%	2.0%	68.0%	0	18.6%(50)
わからない	34.7	6.1	3.1	2.0	54.1	0	36.3 (98)
個人優先	36.9	2.5	0.8	0.0	59.8	0	45.1 (122)
計	33.3(90)	4.4(12)	1.9(5)	1.1(3)	59.3(160)	0	100 (270)

(2) 公共の利益か個人の権利か×老人への席の譲渡

大学生、保育学生共通の傾向がでている。

すなわち、1人の老人に席を譲る人は、個人の権利を優先させる人の割合が、公共の利益を優

表 3-2 公共の利益と個人の権利×車内暴力への対応との関連(大学生)

暴力対応 公・私	一人で 助ける	周囲の人に頼む	知らない ふり	車掌に連絡	自分と周 囲の人	DK・NA	計(N=)
公共優先	29.8%	14.5%	37.2%	50.0%	19.5%	0.0	24.7% (242)
わからない	22.6	50.0	27.9	9.1	34.0	0.0	29.7 (291)
個人優先	46.8	33.9	34.9	40.9	46.1	50.0	45.0 (441)
DK・NA	0.8	1.6	0.0	0.0	0.4	50.0	0.6 (6)
計	39.7(389)	6.3(62)	4.4(43)	2.2(22)	47.1(462)	0.2(2)	100 (980)

表 3-3 公共の利益と個人の権利×車内暴力への対応との関連(保育学生)

暴力対応 公・私	一人で 助ける	周囲の人に頼む	知らない ふり	車掌に連絡	自分と周 囲の人	DK・NA	計(N=)
公共優先	17.2%	0.0%	33.3%	0.0%	11.9%	0.0	13.8% (11)
わからない	13.8	16.7	33.3	0.0	45.2	0.0	31.3 (25)
個人優先	69.0	66.7	33.3	0.0	42.9	0.0	53.8 (43)
DK・NA	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3 (1)
計	36.3(29)	7.5(6)	3.8(3)	0	52.5(42)	0	100 (80)

先させる人の割合よりも多い。これは、個人主義的行動が公共の利益意識よりも勝っているという結果を示している。

前回調査では、3人の老人全員に席を譲る人は、公共の利益を優先させる人の割合が個人の権利を優先させる人の割合よりも多かった。このことは、公共優先の意識の中に老人をも含めて社会の一員に対する協力・援助の意識が存在しているためであろうと解釈していた。1人の老人に席を譲る人の傾向は、今回の調査と一致していた。(表 3-4, 表 3-5, 表 3-6)

(3) 敬語の必要性×老人への席の譲渡

前回調査では、以下のような結果であった。敬語の必要性を認めている人の中で、老人3人に席を譲る人の割合をみた。推測では大部分の人が3人に席を譲る(なぜならば、敬老は年長者を敬うことであるから、年長者を敬う言語表現としての敬語を認めている人は行動でもそれを実行すると考えられるから)はずであったが、実際には55%にしかすぎない。また、敬語の必要性を認めている人で1人の老人に席を譲る人が41%でしかない。ということは、言葉としての敬語を

表 3-4 公共の利益か個人の権利か×老人への席の譲渡(前回調査)

老人 公・私	一人に 譲る	二人に 譲る	譲らない	誰かに いわれたら	三人に 譲る	計
公共優先	36.0%	0.0	0.0%	2.0%	62.0%	18.6(50)
わからない	39.8	1.0	1.0	1.0	57.1	36.3(98)
個人優先	46.7	4.9	0.0	0.0	48.4	45.1(122)
計	42.2(114)	2.6(7)	0.4(1)	0.7(2)	54.1(146)	100 (270)

表 3-5 公共の利益か個人の権利か×老人への席の譲渡(大学生)

老人 公・私	一人に 譲る	二人に 譲る	譲らない	誰かに いわれたら	三人に 譲る	DK・NA	計
公共優先	25.2%	17.6%	40.5%	36.0%	22.6%	0.0	24.7%(242)
わからない	30.7	26.5	8.1	32.0	30.8	0.0	29.7 (291)
個人優先	43.4	55.9	51.4	28.0	46.1	0.0	45 (441)
DK・NA	0.6	0.0	0.0	4.0	0.5	0.0	0.6 (6)
計	49.8(488)	3.5(34)	3.8(37)	2.6(25)	40.1(393)	0.3(3)	100 (980)

表 3-6 公共の利益か個人の権利か×老人への席の譲渡(保育学生)

老人 公・私	一人に 譲る	二人に 譲る	譲らない	誰かに いわれたら	三人に 譲る	DK・NA	計
公共優先	18.2%	25.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	13.8%(11)
わからない	27.3	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	31.3 (25)
個人優先	51.5	25.0	0.0	0.0	57.1	0.0	53.8 (43)
DK・NA	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3 (1)
計	41.3(33)	5.0(4)	1.3(1)	0	52.5(42)	0	100 (80)

認めることと、行動として年長者を敬うことは別次元のこととしてとらえていることが推測できる。

今回の調査では、大学生で敬語の必要性を認めている人の中で老人3人に席を譲る人の割合は、40.8%で半数にみたない。保育学生は、53.5%で半数を少し超えている。敬語の必要性を認めて

いる人で1人の老人に席を譲る人は、大学生では50%弱、保育学生では40%でしかない。

言葉として敬語を認めることと、行動として年長者を敬うことは別次元としてとらえていることが推測できるが、この傾向は、前回調査よりはっきりした傾向としてあらわれているように思われる。(表3-7, 表3-8, 表3-9)。

表3-7 敬語の必要性×老人への席の譲渡(前回調査)

敬語 \ 老人	一人に譲る	二人に譲る	譲らない	誰かにいわれたら	三人に譲る	計
敬語当然	41.3%	2.8%	0.0%	0.8%	55.2%	93.3%(252)
同じ言葉	53.3	0.0	6.7	0.0	40.0	5.6 (15)
DK・NA	100	0.0	0.0	0.0	100	1.1 (3)
計	42.2(114)	2.6(7)	0.4(1)	0.7(2)	54.1(146)	100 (270)

表3-8 敬語の必要性×老人への席の譲渡(大学生)

敬語 \ 老人	一人に譲る	二人に譲る	譲らない	誰かにいわれたら	三人に譲る	DK・NA	計
敬語当然	49.9%	3.4%	3.4%	2.3%	40.8%	0.0	86.1(844)
同じ言葉	51.6	4.0	4.8	4.0	34.7	0.2	12.6(124)
DK・NA	25.0	0.0	16.7	8.3	50.0	0.8	1.2(12)
計	49.8(488)	3.5(34)	3.8(37)	2.6(25)	40.1(393)	0.3(3)	100 (980)

表3-9 敬語の必要性×老人への席の譲渡(保育学生)

敬語 \ 老人	一人に譲る	二人に譲る	譲らない	誰かにいわれたら	三人に譲る	DK・NA	計
敬語当然	40.8%	4.2%	1.4%	0.0%	53.5%	0.0%	88.8(71)
同じ言葉	44.4	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0	11.3(9)
DK・NA	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
計	41.3(33)	5.0(4)	1.3(1)	0	52.5(42)	0	100 (80)

(4) 道理かきしたりか×濡れた傘への対応

大学生で、世の中では筋を通し道理を守ることが大切だと考えている人でも、バスの中で濡れた傘をつけられると場所を移る人が、44%あまり（保育学生は55%）いる。逆に、他人とうまくやるのが大切だと考えている人でも、場所を移ってしまう人が50%（保育学生は62%）いて道理の人と大差ない。

前回調査では、世の中では筋を通し道理を守ることが大切だと考えている人で、バスの中で濡れた傘をつけられて場所を移る人が62%あまりいた。また、逆に他人とうまくやるのが大切だと考えている人でも場所を移ってしまう人が67%いた。

道理が大切だという意識もあまり現実行動とは結びつかない抽象的意見ということが、前回調査、今回の調査を通じて明らかになった。なお、足で押すという極端な意見の人が前回調査よりも今回の調査で、大学生に2割近くもいることは驚きである。（表3-10、表3-11、表3-12）

表3-10 道理かしきたりか×濡れた傘への対応(前回調査)

傘 道理	黙って立つ	傾けるよう言う	足で押す	場所を移る	DK・NA	計
正しいことはどこまでも	12.1%	17.8%	6.9%	62.6%	0.6%	64.4%(174)
その場に応じて	4.2	14.7	13.7	67.4	0.0	35.2 (95)
DK・NA	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.4 (1)
計	9.3(25)	16.7(45)	9.3(25)	64.4(174)	0.4(1)	100 (270)

表3-11 道理かしきたりか×濡れ傘への対応(大学生)

傘 道理	黙って立つ	傾けるよう言う	足で押す	場所を移る	DK・NA	計
正しいことはどこまでも	8.9%	27.8%	18.7%	44.4%	0.2%	45.9%(450)
その場に応じて	9.3	20.6	19.5	50.2	0.4	52.4 (514)
DK・NA	6.3	43.8	12.5	37.5	0.0	1.6 (16)
計	9.1(89)	24.3(238)	19.0(186)	47.3(464)	0.3(3)	100 (980)

表 3-12 道理かしきたりか×濡れた傘への対応(保育学生)

道理 \ 傘	黙って立つ	傾けるよう言う	足で押す	場所を移る	DK・NA	計
正しいことはどこまでも	13.2%	21.1%	10.5%	55.3%	0.0%	47.5%(38)
その場に応じて	15.0	12.5	10.0	62.5	0.0	50.0 (40)
DK・NA	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	2.5 (2)
計	13.8(11)	17.5(14)	10.0(8)	58.8(47)	0	100 (80)

(5) 公共の利益か個人の権利×拾った金の処置

前回調査では、項目間の関連に一応の一貫性があった。すなわち、仕事を優先し後で近所の警察に届けると答えた人の割合をみると、個人の権利を優先させる人の方が公共の利益を優先させる人よりも2割多い。逆に、警察にさきに届けに行く人の割合は、公共の利益を優先させる人の方が、個人の権利を優先させる人よりも多かった。今回の結果をみると、大学生では仕事を優先し後で近所の警察に届けると答えた人の割合は、個人の権利を優先させる人の方が公共の利益を優先させる人よりもわずかに多い。(保育学生は1割多い)警察にさきに届けに行く人の割合は、公共の利益を優先させる人の方が、個人の権利を優先させる人よりもわずかに多かった。(表 3-13, 表 3-14, 表 3-15)

(6) 道理かしきたりか×就職依頼への対応

大学生の場合、電話で報告する人の割合は道理の方が大切とする人が他人とうまくやるのが大切とする人よりもわずかに多い。これは保育学生も同様の傾向である。また、礼状をだす人の割合は、他人とうまくやるのが大切とする人が、道理の方が大切とする人をわずかながらうわ

表 3-13 公共の利益か個人の権利か×拾った金の処置(前回調査)

サイフ \ 公・私	とりあえず警察	寄 付	も ら う	後日、警察	そのまま	計
公共優先	20.0%	6.0%	12.0%	50.0%	12.0%	18.6%(50)
わからない	9.2	3.1	8.2	61.2	18.4	36.3 (98)
個人優先	15.6	1.6	6.6	68.9	7.4	45.1 (122)
計	14.1(38)	3.0(8)	8.1(22)	62.6(169)	12.2(33)	100 (270)

表3-14 公共の利益か個人の権利か×拾った金の処置(大学生)

サイフ 公・私	とりあえず 警 察	寄 付	も ら う	後日、警察	そのまま	DK・NA	計
公共優先	9.5%	17.8%	28.9%	34.3%	9.5%	0.0%	24.7(242)
わからない	5.2	20.3	23.7	39.9	11.0	0.0	29.7(291)
個人優先	6.1	15.2	29.3	36.5	12.7	0.0	45.0(441)
DK・NA	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	0.2	0.6(6)
計	6.6(65)	17.2(169)	27.8(272)	36.8(361)	11.4(42)	0.1(1)	100 (980)

表3-15 公共の利益か個人の権利か×拾った金の処置(保育学生)

サイフ 公・私	とりあえず 警 察	寄 付	も ら う	後日、警察	そのまま	DK・NA	計
公共優先	9.1%	9.1%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0	1.3(1)
わからない	4.0	8.0	12.0	64.0	12.0	0.0	13.8(11)
個人優先	7.0	7.0	16.3	48.8	20.9	0.0	31.3(25)
DK・NA	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	53.8(43)
計	6.3(5)	7.5(6)	17.5(14)	52.5(42)	16.3(13)	0	100 (80)

まわっている。但し、保育学生は大学生の場合とは反対の傾向となっている。前回調査では、(1) 礼状をだす人の割合は、道理の方が大切だとする人が、他人とうまくやることが大切とする人よりも相対的に多い。(2) 電話で報告する人の割合は、他人とうまくやることが大切とする人が、道理の方が大切とする人よりも相対的に多い。(3) 家を訪ねて直接報告する人の割合は、他人とうまくやることが大切とする人が、道理が大切とする人よりも相対的に多い。以上が前回調査の結果である。(表3-16, 表3-17, 表3-18)

4. 結果の要約

以上の検討からいくつかの知見が得られた。

それらを要約すると以下ようになる。

(1) いわゆるミーイズムと表現されるような自己中心主義は、前回調査よりも進んで濃厚にみられる。

表3-16 道理かしまたりか×就職依頼への対応(前回調査)

道理 \ 口ぞえ	電話報告	黙っている	礼状	品物	相手の家	計
正しいことはどこまでも	40.8%	1.1%	40.8%	0.6%	16.7%	64.4%(138)
その場に応じて	52.6	1.1	25.3	1.1	20.0	35.2 (95)
DK・NA	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4 (1)
計	45.2(122)	1.1(3)	35.2(95)	0.7(2)	17.8(48)	100 (270)

表3-17 道理かしまたりか×就職依頼への対応(大学生)

道理 \ 口ぞえ	電話報告	黙っている	礼状	品物	相手の家	DK・NA	計
正しいことはどこまでも	71.8%	5.6%	16.9%	1.6%	4.2%	0.0	45.9(450)
その場に応じて	70.6	7.6	18.3	0.8	2.7	0.0	52.4(514)
DK・NA	68.8	6.3	25.0	0.0	0.0	0.0	1.6(16)
計	71.1(697)	6.6(65)	17.7(174)	1.1(11)	3.4(33)	0	100 (980)

表3-18 道理かしまたりか×就職依頼への対応(保育学生)

道理 \ 口ぞえ	電話報告	黙っている	礼状	品物	相手の家	DK・NA	計
正しいことはどこまでも	81.6%	2.6%	10.5%	2.6	2.6	0.0%	47.5(38)
その場に応じて	80.0	5.0	7.5	2.5	5.0	0.0	50.0(40)
DK・NA	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5(2)
計	71.1(697)	6.6(65)	17.7(174)	1.1(11)	3.4(33)	0	100 (80)

(2) 前回も指摘したが、他人との人間関係を処理することが下手である。とりわけ、コミュニケーションが老人よりも熟達していると考えられたのが、自分の意志や感情さえも伝達手段として用いない場合がみられた。

- (3) 対人関係の処理の社会化が不十分である。消極的で極端な対応になってしまう。
- (4) 個人主義的行動が、公共の利益意識よりも勝っている。すなわち、意識と行動のギャップがある。
- (5) 電話利用にみられるように、安易な対応をよしとする考え方は、成人社会にでた場合、カルチャーショックを受けるであろう。
- (6) 敬語をうまく使えていない。これは、自信のないことの裏がえしと考えられる。

<参考文献>

NHK ブックス 現代日本人の意識構造 [第三版] NHK 世論調査部 1991
教育アンケート調査年鑑 1994年版上 創育社 1994

<引用文献>

東京都高等保育学院紀要第5号 東京都足立高等保育学院 1983

お願い

私達は、日常生活の中で経験するさまざまな事柄について、皆様はどのようなお考えを持っておられるかご意見をうかがわせて頂きたいと思えます。

皆様方のご回答は、すべて統計処理をし、研究目的のみ使用いたしますのでご協力をお願い致します。

なお、ご記入の仕方は、質問をお読みになり最初に思いついたものをお答え下さい。

現代人の意識・行動研究会

東海大学 教授 小川浩一

城西大学女子短期大学部

助教授 佐藤嘉晃

助教授 橋本泰子

質問項目

I. 次の各々の場面の中で日頃のあなたの考えや行動に一番近いものを一つ選んで、その番号に○をつけて下さい。

1. 町の地域活動の一つとして、災害地に救援物資を送ることになり、あなたもセーターを提供しようと思いましたが、少し汚れているのでそのままでは着れません。洗えばいいのですが、それでは期限に間に合いません。あなたはどうしますか。
 - ① 着て着れないことはないからそのまま提供する。
 - ② 遅れてもいいから洗って提供する。
 - ③ 提供するのをやめる。
 - ④ セーターの代わりに他の汚れていない物を提供する。
2. あなたが電車に乗ったら身障者の友人が乗っていたので手を握ったとたん電車が揺れて、彼はヤクザ風の男にぶつかってしまい、その男は友人のことを口汚く罵り暴力を振るいました。あなたはどうしますか。
 - ① 殴られるのを覚悟して友人を助けに行く。
 - ② 周囲にいる人に助けを頼む。
 - ③ 知らないふりをして、収まるのを待つ。
 - ④ 電車の非常コックを引いて停車させ、車掌に連絡する。

- ⑤ 自分も助けに行くが、同時に周囲にいる人にも手助けを頼む。
3. あなたが恋人と映画に行き、大きな荷物を隣の席に置きました。すぐ横に老人が3人来て立っ
てみています。映画は大作で終わるまでまだかなり時間がかかります。あなたはどうしま
すか。
- ① 荷物をどけて老人が一人だけ座れるようにする。
② 自分は立って荷物を持ち、老人二人が座れるようにする。
③ 荷物をどけて一人ぐらい座れるようにしても大勢に影響がないからそのままにして
おく。
④ 誰かから何か言われるまでそのまましておく。
⑤ 恋人と二人で立ち荷物を持って老人三人に席を譲る。
4. 雨の日にバスに乗り立っていました。座っている人の濡れた傘が自分の側に傾いているので
自分の服が濡れています。あなたはどうしますか。
- ① 黙って立っている。
② 傘をその人の側に傾けてくれるように言う。
③ 傘を足で押して、その人の側につける。
④ 場所を移る。
5. 道路に少額の現金が入っている封筒が落ちていました。自分はこれから大事な仕事で人に会
わねばなりません。近所には交番や人家ありません、こんな時あなたはどうしますか。
- ① 相手の人には後で事情を話すことにして、とりあえず警察に届ける。
② 自分の仕事の方が大切だし、金額も大したことがないので、人に会う方を優先させ
る。
③ 警察も近くにないし面倒だから天からの授かり物と思ってもらっておく。
④ 仕事を先にして、後日、自宅近くの警察に届けることにする。
⑤ かかわり合いが面倒なので元の場所に置いておく。
7. 親友から次のような相談を受けました。「中学2年の私の甥がアダルトビデオを見ている現
場に出会った。彼も両親も私のことを信頼し慕っている。彼の両親はとても厳格な人です。
私はどうしたら良いでしょう。」さて、あなたなら何と答えますか。
- ① 非行の芽は早く摘んだ方が良いから親に直接注意してもらおうようにする。
② なぜ、アダルトビデオを見ない方が良いのかを彼に直接言う。
③ しばらく様子を見て、常習的ならば注意するようと言う。
④ 少年が自分で判断すれば良いことなのだから放っておくように言う。
⑤ 少年に恨みを買うのは嫌だからわからないと言う。
8. 友人と車で買い物に行きました。店の駐車場は一杯でした。その店の前に斜めにすれば駐車

できるスペースはありますが、かなり邪魔になります。あなたの買い物はそんなに時間がかかりませんか。あなたはどうしますか。

- ① 斜め駐車してさっと買い物を済ませる。
 - ② 少し待っても駐車場に入れてから買い物をする。
 - ③ 自分だけ買い物に行き、その間他の車の邪魔になったら友人に移動しておいてもらう。
 - ④ 店の主人に断ってしばらく斜め駐車をして買い物を済ませる。
9. 降りるとき料金を払うシステムになっているバスに乗りました。ある停留所でバスが止まったまま発車しません。客が、ポケットをひっくり返して小銭を探しています。あなたならどうしますか。
- ① バスに乗る前に小銭を準備するから、そんなことは起きない。
 - ② 両替を先にしておく。
 - ③ 他の乗客に両替を頼む。
 - ④ 特に何もしない。
10. それ程親しくない人からあなたの所にお中元が届きました。何で急にこんなことをするのか分かりません。あなたはどうしますか。
- ① 別に気にせずもらって礼状を出す。
 - ② 貰ういわれがないからそのまま返送する。
 - ③ 黙って受け取ってそのままにしておく。
 - ④ 受け取っておくが同額位の品物を探して相手に送る。
 - ⑤ 間違いではないのかを相手にたずねる。
11. あなたの就職のことで先輩に口ぞえを頼みましたが、結果はうまく行きませんでした。こんな場合あなたはどうしますか。
- ① うまくいかなかったので、みっともないから黙っている。
 - ② 相手に電話して結果を報告する。
 - ③ 手紙で結果を報告する。
 - ④ 名刺をつけた品物を送る。
 - ⑤ 相手の家に行き結果を報告する。
12. 親友が高性能のステレオを買いました。あなたも聴きに來るようにさそわれたので、彼のアパートに行きました。性能を発揮させるためには、かなり大きな音になります、隣の部屋にまで音が飛び込んでしまいます。あなたならどうしますか。
- ① 音を小さくするかヘッドホーンで楽しむように忠告する。
 - ② 自分のステレオで楽しんでいるのだから何とも思わない。

- ③ 隣人に何か言われたら謝るように言う。
 - ④ 引っ越しして防音効果のある部屋で聴くように言う。
 - ⑤ あらかじめ近所の部屋の人に話をして了解を得ておくように言う。
13. 電車に乗り、座っているとあなたの前に新聞紙が何枚も飛んできました。あなたは どうしますか。
- ① 自分が読んだのではないし放っておく。
 - ② 足で踏んで自分の下に寄せておく。
 - ③ 拾って降りる時、くずかごに捨てる。
 - ④ 拾って網棚に乗せる。
 - ⑤ 拾って窓から捨てる。
14. あなたが親戚の子供をつれてスーパーに行きました。その子がチョコレートを欲しがり今すぐ食べると行って大声で泣き、足をバタバタさせています。まだレジで支払いを済ませていません。あなたは どうしますか。
- ① 泣く子には勝てないから食べさせて後でレジで支払う。
 - ② 支払いを済ませてから食べさせる。
 - ③ 支払いが全部終わるまで食べさせない。
 - ④ チョコレートを取り上げてスーパーの外へ引きずっていく。
 - ⑤ 買い物をやめて子供を家に連れて帰る。
15. あなたが最新流行の服を作りましたが仕上がりが遅れたので予定のパーティーには間に合いません。学校に着ていくぐらいです。こんな時あなたは どうしますか。
- ① 学校に着ていく服装らしくないら諦めて来シーズンに着る。
 - ② 学校の服装規程がないから着ていく。
 - ③ もったいないから学校に着ていく。
 - ④ 友人に意見を聞いてから決める。
 - ⑤ 先生や親に意見を聞いてから決める。
16. あなたが友人との待ち合わせ時間に遅れそうなので、急いで自転車で駅まで来ました。あいにく駐輪所が一杯でした。あなたは どうしますか。
- ① 家に戻って自転車を置いてくる。
 - ② 近くの知人の家に頼む。
 - ③ 駐輪所が空くのを待つ。
 - ④ 駅の近くの路地に置く。
17. もしもあなたがアパートのオーナーで外国人が部屋を借りに来た時、あなたなら どうしますか。

- ① 家賃を確実に払ってくれるならば、国籍にかかわらず貸す。
- ② こちらの出す生活習慣等の条件に応じてくれるならば貸す。
- ③ 相手にあって見ないと分からない。
- ④ よく話し合ってみて、日本人の知人がいるのなら貸す。
- ⑤ 日本人以外はトラブルがあると嫌なので絶対貸さない。

II. 次の各々の質問の中で日頃のあなたの考えに一番近いもの回答を一つ選んで、その番号に○をつけて下さい。

1. 最近外国人労働者が増加していますが、あなたはどのように思いますか。
 - ① 無条件で受け入れるべきだ。
 - ② 条件付きで受け入れるべきだ。
 - ③ 受け入れるべきではない。
 - ④ どちらともいえない。
2. 最近、朝鮮人学校の女子高生に対する制服切りや嫌がらせがされていますが、あなたはどのように思いますか。
 - ① いじめることは許せないし、認められない。
 - ② いじめられる理由があるからしょうがない。
 - ③ よくわからない。
3. 性交渉が原因のエイズ感染者に対してあなたはどのように思いますか。
 - ① 気の毒に思う。
 - ② 同情できない。
 - ③ どちらでもない。
4. 最近高齢者の独居老人が増加していますが、あなたはどのように思いますか。
 - ① 家族との同居が好ましい。
 - ② 本人が健康で、生活に支障がなければ独居でもよい。
 - ③ 家族や近所の人に迷惑をかけるので、老人ホームに入所すべきだ。
 - ④ 高齢者は全員老人ホームに入所できるようにすべきだ。
 - ⑤ わからない。
5. 臓器移植についてあなたはどのように思いますか。
 - ① 患者が健康になるなら賛成である。
 - ② 移植までして長生きすべきではない。
 - ③ よくわからない。

III. 次の各項目ごとにあなたの意見に最も近いものを一つだけ選んで、その番号に○をつけて下さい。

1. 「公共の利益のためには個人の権利はある程度犠牲になってもやむを得ない」という意見について、あなたはどう思いますか。
 - ① そう思う ② わからない ③ そうは思わない
2. 「人間は誰もが何がしかの社会的役割を持っているのだから、それぞれの立場に応じた責任を果たす心構えが常に必要だ」という意見について、あなたはどう思いますか。
 - ① 全く同感だ ② ある程度同感できる ③ どちらともいえない
 - ④ あまり同感できない ⑤ 全く同感できない
3. あなたは現在の暮らし向きに満足していますか。
 - ① 非常に満足 ② まあ満足 ③ どちらでもない
 - ④ 少し不満 ⑤ 非常に不満足
4. 次の意見のうち、あなたの立場に近いものはどちらですか。
 - ① はじめはうまくいなくても、道理があればしまいに認められるのだからどんな場合でも正しいと思うことはどこまでも主張し、自分をごまかさず、信念をもって生きることが大切だと思う。
 - ② 世の中はそんなに甘くないから、目上の人はいつも立て、自分の置かれた立場をよくわきまえて、人に好かれるようにその場、その場に応じてうまく振る舞うことが大切だと思う。
5. あなたは、しつけの中心的な場として家庭と学校のいずれが大切だと思いますか。
 - ① 家庭 ② 学校 ③ どちらも同じ ④ 一概にいけない
6. 次のような意見についてあなたはどう思いますか。各々の abc ごとに答えて下さい。
 - a. 子供にメンツにこだわるなと教えることは大切だ。
 - ① そう思う ② そう思わない ③ わからない
 - b. 先生が悪いことをした場合、隠さずにそれは本当は悪いことだと子供に教えた方よい。
 - ① そう思う ② そう思わない ③ わからない
 - c. 他人にあげるものを買うとき、同じものなら有名な店で買う方である。
 - ① そうしている ② そうしていない ③ 決まっていない
7. あなたは次のような各々の場においてどのような付き合いをするのが望ましいと思いますか、答えて下さい。
 - a. 親戚付き合い
 - ① 一応の礼儀をつくす程度の付き合い
 - ② 気軽に行き来できるような付き合い

- ③ なにかにつけて相談したり助け合えるような付き合い
- b. 近所付き合い
- ① 会った時に挨拶する程度の付き合い
- ② あまり堅苦しくなく話し合えるような付き合い
- ③ 何かにつけて相談したり助け合えるような付き合い
- c. 職場の同僚との付き合い
- ① 仕事に直接関係する範囲の付き合い
- ② 仕事が終わってからも話し合ったり遊んだりする付き合い
- ③ 何かにつけて相談したり助け合えるような付き合い
8. 次の各々の項目であなたの意見に近いものを項目ごとに選んで下さい。
- a) ① 年上の人に対して敬語や丁寧な言葉を使うのは当然だ
- ② 年上の人にも年下の人にも同じような言葉を使った方がよい
- b) ① 台所の手伝いや子供のお守りは一家の主人である男子のすることではない
- ② 夫婦はお互いに助け合うべきものだから夫が台所の手伝いや子供のお守りをするのは当然である
9. 現在の世の中で子供達がどんな人間に育つことが一番望ましいと思いますか。
- ① 秩序を守る規則正しい人間
- ② お互いの権利や生活を尊ぶ人間
- ③ 実社会で役立つ知識や技能を身につけた人間
- ④ 教養があり心が豊かな人間
- ⑤ その他
10. 次の家庭の中であなたが一番好ましく感じるものはどれですか。
- ① 父親は一家の主人としての威厳をもち、母親は父親をもちたてて心から尽くしている
- ② 父親も母親も自分の仕事や趣味をもっていて、それぞれ熱心に打ち込んでいる
- ③ 父親は仕事に力を注ぎ、母親はまかされた家庭をしっかり守っている
- ④ 父親は何かと家庭のことにも気をつかい、母親も暖かい家庭作りに専念している
11. あなたの生活目標は次の中のどれが一番近いでしょう。一つだけ選んで下さい。
- ① その日その日を自由に楽しく過ごす
- ② しっかり計画を立て豊かな生活を築く
- ③ 身近な人たちとなごやかな毎日を送る
- ④ みんなと力を合わせて世の中をよくする
12. 次の各項目の意見のうちあなたの考えにより近いものはどちらでしょう

- a) ① 結婚は当事者だけの合意によって成り立つものではなく、親や生活環境のことも考えるべきだ
 ② 結婚は当事者の合意さえあればよいのだから周囲のことまで気にする必要はない
- b) ① 一度結婚したら多少の困難があろうとも離婚すべきではない
 ② 結婚してもお互いに納得できないようなことがあるならば一緒にいるよりも離婚した方がよい

13. あなたの性格は明るい方ですか。

- ① 非常に ② やや ③ 時と場合による ④ よくわからない

IV. 以下の各質問で自分に当てはまると思うものに○を付けて下さい。10項目あります。

- a. 知らぬ人と話すときは堅くなる。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- b. 新しい友達はなかなかできない。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- c. こちらから進んで友達を作ることが少ない。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- d. 人目に立つようなことは好まない。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- e. 異性の友達が殆どできない。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- f. 無口である。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- g. 誰とでもよく話す
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- h. 人と広くつきあうのが好きである。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- i. いろいろな人と知り合いになるのが楽しみである。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない
- j. 人中出现まごつかない。
 ① はい ② いいえ ③ どちらでもない

以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

あなたの性別（男性・女性）	年齢（ ）歳	学年（ ）年	
在籍及び：	（ ）大学	（ ）科	（ ）専門学校
卒業学校	（ ）短期大学	（ ）科	（ ）高校

在籍中・卒業

あなたの父親母親について、

あなたの性別（男性・女性）	年齢（ ）歳	職業（ ）
卒業学校	大学	専門学校
	短期大学	高校